

令和6年度 シラバス

	商業		教科書	簿記（東京法令出版）
科目名	簿記		必修 副教材	完全分類全経簿記2級商業簿記
履修学年	2学年Ⅱ型	単位数		3
科目の目標	<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けようとする。</p> <p>(2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。</p> <p>(3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>			
観点	評価の観点の趣旨			
知識技能	学習の過程を通じた知識及び技術の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技術と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技術を習得したりしているかについて評価する。			
思考判断表現	簿記に関して、知識及び技術を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価する。			
主体的に学習に取り組む態度	単に継続的な行動や積極的な発言を行う等、性格や行動面の傾向を評価するのではなく、知識・技術を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。			
学習方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒が解いた問題の解説をプロジェクターを使用して行います。 2 小テストはロイロノートで配布しますので、自己採点し提出してください。 3 毎時間宿題が出ますので、期日までにロイロノートで提出してください。 4 毎時間リフレクションシートの記入があります。「主体的に学習に取り組む態度」の評価材料となりますのでしっかりと記入してください。 			

内容のまとめりごとの評価規準

科目：簿記

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	簿記の原理	①簿記の原理について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ②資産、負債、純資産、収益、費用の基本的な概念及び貸借対照表と損益計算書の役割・構造について理解している。	①取引を記録することと決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 ②取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至る簿記一巡の基本的な手続きに対応している。	①簿記の原理について学び、適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ②簿記における取引の概念、取引の二面性、仕訳の方法、勘定の役割、総勘定元帳の記帳法、試算表の作成方法、決算の目的、基本的な決算手続きについて正しく理解しようと、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
小単元等		知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	企業の簿記	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	1時間
(2)	資産・負債・純資産 貸借対照表	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	3時間
(3)	収益・費用 損益計算書	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	3時間
(4)	取引と勘定	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	3時間
(5)	仕訳と勘定への記入	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート	2時間
(6)	仕訳帳と総勘定元帳	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	2時間
(7)	試算表	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	2時間
(8)	決算	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	3時間
2	取引の記帳	①取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ②現金と預金、債権債務と有価証券、商品売買、販売費と一般管理費、固定資産、個人企業の純資産と税について正しく理解し、仕訳や記帳する技術を身に付けている。	①取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 ②記帳に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適正な会計帳簿の作成について、組織の一員として役割を果たそうとしている。	①取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ②取引の仕訳から勘定の記入について、積極的に企業における実務に結びつけて理解しようと主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
小単元等		知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	現金・預金の記帳	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	4時間
(2)	単元のまとめ	1学期期末考査	1学期期末考査	リフレクションシート	2時間
(3)	商品売買の記帳	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	4時間
(4)	掛取引の記帳	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	3時間
(5)	手形取引の記帳	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	3時間
(6)	その他の債権・債務の記帳	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	3時間
(7)	有価証券の記帳	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	3時間
(8)	固定資産の記帳	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	3時間
(9)	販売費と一般管理費の記帳	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	1時間
(10)	個人企業の純資産の記帳	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	2時間
(11)	個人企業の税金の記帳	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	2時間
(12)	単元のまとめ	2学期中間考査	2学期中間考査		2時間

19時間

32時間

3	決算	①決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ②試算表を作成する方法及び売上原価の算定、貸倒の見積もり、減価償却、売買目的の有価証券の評価、消耗品の処理、現金過不足の処理、収益と費用の繰り延べ・見越しなどに係わる記帳法を正しく理解している。	①決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 ②決算整理など決算に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適正な決算整理と財務諸表の作成について、組織の一員としての役割を果たすことができるように対応している。	①決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ②財務諸表を作成するための精算表の作成に主体的かつ意欲的に取り組んでいる。 ③勘定式貸借対処表と損益計算書の作成に主体的かつ意欲的に取り組んでいる。	
小単元等		知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	決算整理	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	9時間
(2)	財務諸表の作成の基礎	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	9時間
4	会計帳簿	①会計帳簿について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ②帳簿の記帳方法について正しく理解している。	①会計帳簿の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 ②3伝票制による記帳や特殊な取引の仕訳ができる。	①会計帳簿について自ら学び、適正な伝票の記帳や特殊な取引の仕訳に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
小単元等		知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	帳簿	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	1時間
(2)	3伝票制による記帳	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート 行動観察	3時間
(3)	特殊な取引	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	4時間
(4)	単元のまとめ	2学期期末考査	2学期期末考査		2時間
5	本支店会計	①本支店会計について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ②本店と支店間の取引及び支店相互間の取引や記帳について正しく理解している。	①本支店会計に関する取引の記録と財務諸表の合併の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 ②本店と支店における決算手続き及び内部利益を含まない合併財務諸表の作成ができる。	①本支店会計について自ら学び、適正な本店・支店間の取引と支店間取引の記録及び財務諸表の合併に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
小単元等		知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	本支店間の取引	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	7時間
(2)	本支店財務諸表の合併	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	7時間
6	記帳の効率化	①記帳の効率化について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ②入金伝票、出金伝票、振替伝票の起票、集計、転記の方法を身に付けている。 ③会計ソフトウェアを活用することの利点及び会計ソフトウェアを活用して効率的に取引の記録と財務諸表の作成を行う方法について身に付けている。	①記帳の効率化の方法と妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 ②伝票の利用など記帳の効率化に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、伝票の利用と会計ソフトウェアの効果的な活用について、組織の一員として役割を果たすことができるように対応している。	①記帳の効率化について自ら学び、伝票の利用とソフトウェアの効果的な活用で主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
小単元等		知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	伝票の利用	提出物、小テスト		提出物、リフレクションシート	2時間
(2)	会計ソフトウェアの活用	提出物、小テスト	提出物、小テスト	提出物、リフレクションシート 行動観察	8時間
(3)	単元のまとめ	学年末考査	学年末考査		2時間
合計時数					105時間